

梅原の子

Umehara Elementary School

梅原小学校 学校だより

令和6年 1月号

このたびの石川県能登地方を震源とする能登半島地震により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方、そのご家族及び関係の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。

今も余震が続き、安否が不明の方や避難を余儀なくされている方も多く、予断を許さない状況が続いております。被災された皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今を 力一杯 生きる

梅原小学校の3学期は、1月9日に始まりました。始業式は、土砂災害時の避難場所である体育館2階の広場で行いました。開式の前に、みんなで黙祷を捧げました。寒い中での式となりましたが、被災地では多くの小中学校が避難所になっていてそこで生活しておられる方々がいること、3学期の始業式の見通しが立たない学校があることなどに思いを馳せる時間となりました。式を終えた1年生は、教室に入るなり「あったかい〜。エアコンさんありがとう。」といったそうです。

(児童の感想)

- ・始業式の時間だけの体育館だったけど、本当に寒くて、この体育館に一日中いるのは苦しいなあと思いました。不便なこともあるだろうけど、自分より小さい子もがんばっていると思う。自分ができることは精一杯がんばりたい。
- ・食べるものもなかったり、すきなことが思いきりできなかったりする生活でも、がんばっている人たちはすごいと思いました。その人たちの気持ちをよく考えて、命を大切にすることをしようと思いました。
- ・避難する生活や学校がはじまらないのは、自分にとっては困ることだと思いました。今、生活ができることを大切にしたいと思いました。

当たり前には水や電気を使える日常があること、居心地よく整った環境で生活できること、今日もまた友達に会えたこと、みんなで勉強する場所があること、温かいご飯がいただけること、「ただいま」と言える家や家族があること、子ども達の周りには当たり前ではない有り難さがあふれています。そういうことにも心に向け、今を力一杯生きることを子ども達と共に考えていきます。

1月16日 全校チャレンジ運動の様子



さて、2024年の干支は辰です。今年は「甲辰(きのえ・たつ)」といって『春の日差しが全ての成長を助ける年』と言われています。一人一人が成長できる年にすること、一人一人が周りの人を温かく照らす「春の日差し」になることを願っています。

1月17日 大谷翔平さんが寄贈して下さったグローブが届きました。子どもたちが夢と勇気を持ち続けて人生を歩んでいくシンボルです。大谷選手からの日差しが梅原小にも届き、子どもたちの笑顔になりました。

